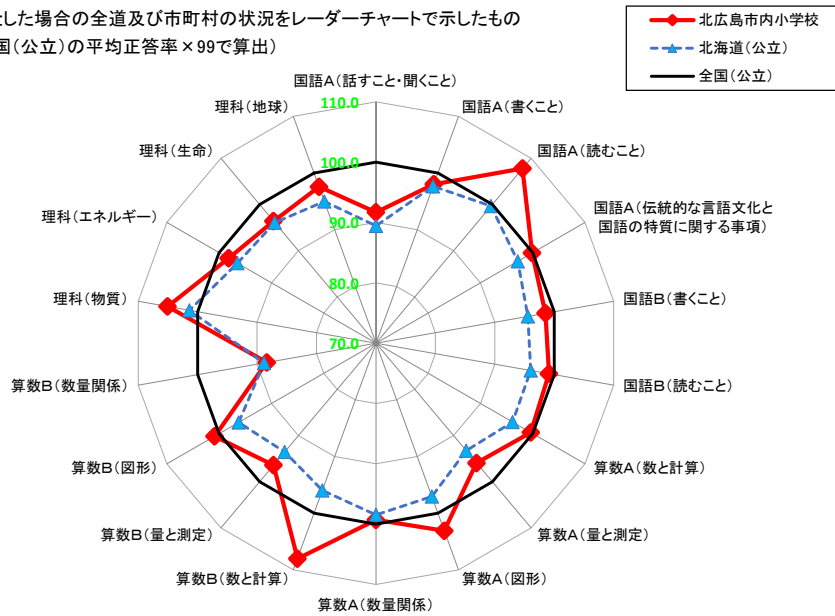


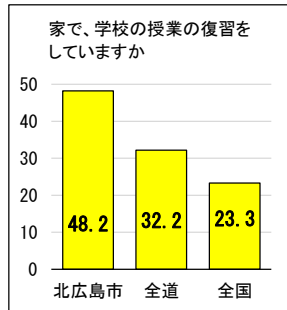
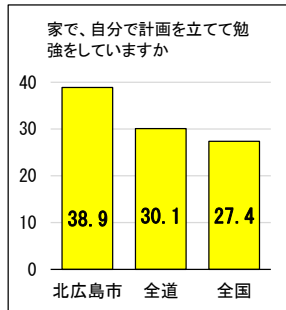
■北広島市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9、児童数:597名)

【教科全体の状況】

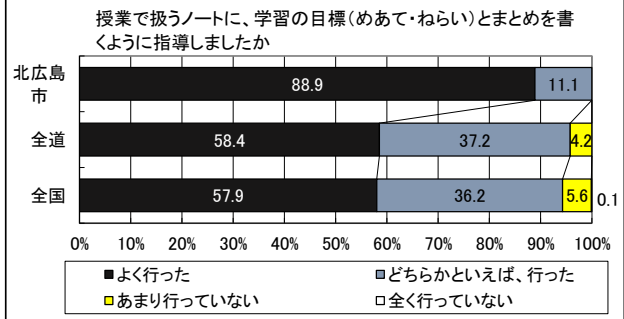
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×99で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|---|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「読むこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全国及び全道を上回っている。 ○ 算数Bでは、「数と計算」で全国及び全道を上回っている。 ○ 理科では、「物質」で全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で、学習の目標や学習した内容のまとめを書くように指導したことにより、学習内容の理解や習熟が図られるようになった。 ○ その結果、自ら進んで家庭で計画的、自主的に勉強をする児童が増えたと考えられる。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている、学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 | |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く指導を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 | |

【北広島市の学力向上策】

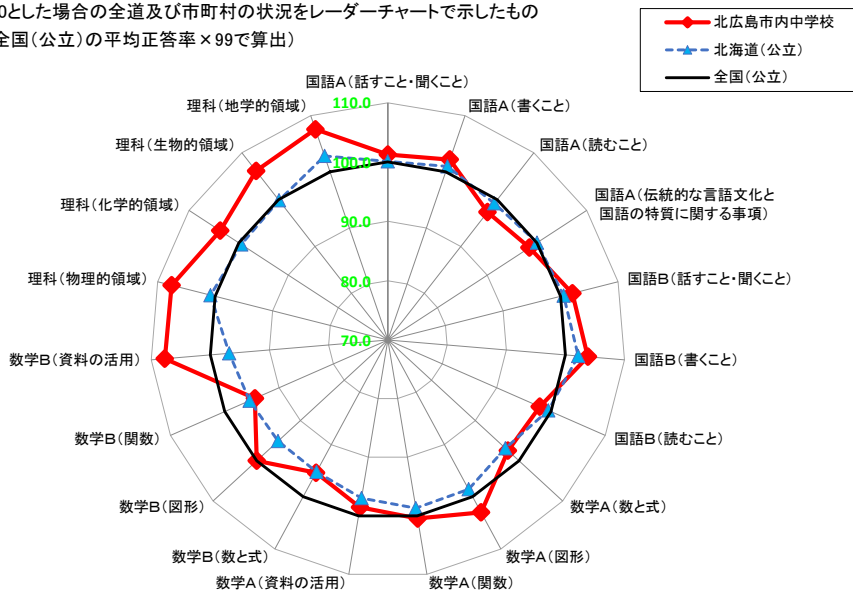
- ◎ 小中一貫した学習習慣の定着を図ることによる小中の学びの連続性の充実
- ◎ ICT機器環境の充実や教職員の活用能力の向上に向けた研修の実施
- ◎ 外部人材を活用した放課後や長期休業中における補充的な学習支援の実施
- ◎ 授業アンケートの実施による授業改善、指導力向上の取組

■北広島市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7、生徒数:539名)

【教科全体の状況】

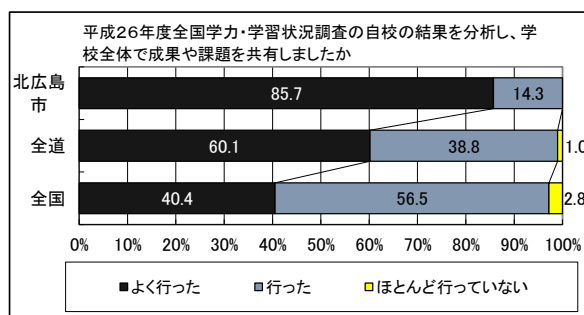
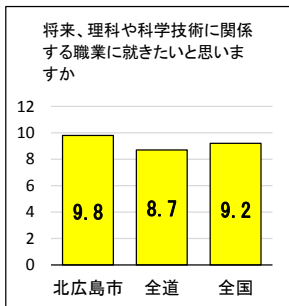
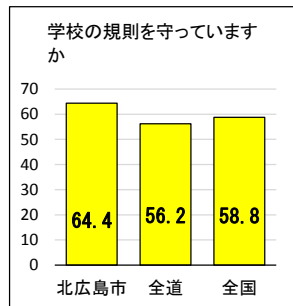
【平均正答率の全国との差の推移】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×99で算出)



【生徒質問紙調査】

【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・国語Bでは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」、「関数」で全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科」で、全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「将来、理科や科学技術に関する職業に就きたい」と回答する生徒が多く、意欲が高いことから、理科の学習内容の確実な定着につながっていると考えられる。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の規則を守っている、将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有した学校が多いことが、各学校での授業改善につながっていると考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題の共有を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 | |

【北広島市の学力向上策】

- ◎ 小中一貫した学習習慣の定着を図ることによる小中の学びの連続性の充実
- ◎ ICT機器環境の充実や教職員の活用能力の向上に向けた研修の実施
- ◎ 外部人材を活用した放課後や長期休業中における補足的な学習支援の実施
- ◎ 授業アンケートの実施による授業改善、指導力向上の取組